

豪雨時における安全運転の確保

記録的な豪雨に見舞われた福岡、大分両県では、死者・行方不明者が多数出るなど、甚大な被害が発生しています。また、走行中の自動車が豪雨に巻き込まれる事故も発生しています。

広島県でも、先日、大雨が降りましたが、今後、九州北部のような豪雨災害がいつ発生するか分かりません。特に、例年、梅雨末期には集中豪雨が発生しています。

自動車で行行中、豪雨に遭遇した場合は次のことに注意しましょう。

◆ **ワイパーを最速にしても視界が悪くなるので、速度を落とし、車間距離を十分取りましょう。また、自車の存在を周囲の車に知らせるため、昼間でもライトを点けましょう。**

◆ **山道では、土砂崩れの危険があるので、路肩に寄り過ぎないようにしましょう。**

◆ **冠水した道路では、エンジンが止まり閉じ込められる恐れがあるので、通らないようにしましょう。特にアンダーパスの走行には十分注意しましょう。**

万が一、止まってしまったら、車が完全に水没する前に脱出しましょう。

◆ **歩行者や自転車も、雨で視界が悪くなっているので注意しましょう。**

特に歩行者は傘で視界が遮られていることが多いので、注意が必要です。



◆ **少しでも危険を感じたら、無理な走行を継続せず、安全な場所停車しましょう。**